

本の

東能勢小学校
図書館便り

さんぽみち



58号
2014年
9月号

「二期も たくさん

本を 読もうね!

長い夏休みが終わって、たくさん
さんの本が図書室に返って

きました。

時間内に

返却と貸出

作業を終わ

らせるために、

ゆつくり話を聞

なかつたのが残念です。機会が

あれば、ぜひ夏休みに読んで

本の感想や思い出を聞かせ

てくださいね。

もしも...まだ返してない本がある人は→すぐに図書室へ!



新たに二人の

本のソムリエ誕生!

夏休み中に「本のソムリエ認定講習会」が開催され、



東能勢小学校には新たに二人の「本のソムリエ」が誕生しました。

一人は「ミステリー」のソムリエ、もう一人は「魔女の出てくる話」のソムリエです。クラスや学校の中だけじゃなく、機会があれば地域の人たちにも本を紹介してほしいですね。

こんな本はいかが?

あらず 争いのない せかい 世界に...

6年生が広島への修学旅行に向けて、平和調べ学習に取りかかっています。8/6の平和登校日には、各学年ごとにビデオを見て感想を話し合い、その後折り鶴を作りましたね。この機会に、戦争や平和について考える本を読みましょう! (窓の所に置いてあります。)



- 『かわいそうなぞう』
- 『よしこがもえた』
- 『アンネの木』
- 『うわさごと』
- 『なぜ戦争はよくないか』
- 『へいわって どんなこと?』



夏休み

うちどくへの

ご協力を

ありがとう

ございました!

夏休み最初にあった個人懇談時の図書館開放では、毎日数名の方が来室して本を借りていってくださいました。

図書館開放は、二期期末の個人懇談期間中にも予定しています! 来てくださる時間を作って図書室に

た保護者のみなさん、ありがとうございました。

夏休みに、一冊の本からどんな会話がされたんだろう? と楽しみながら「うちの記録」に目を通させていただけます。

「うちの記録」は、図書室にある「読書の記録」ファイルにしています。図書館開放の時に確認しに来てください。

「うちの一人からのひとこと」には、低学年だけどちよつと長い物語の本をうちどく用に選んだ子に「小さな字の本を何日もかけて読めた」と、「すいよー」という言葉がありました。また、「借りてくる本で子どもが興味を持っている事について話せ、ゆつくりした時間を過ごせました。」とか「楽しいだけでなく、何だ?何が起きた?と思った本をチヨイスできるようになったことに成長を感じた。」というように、本を通して子ども達のことを見直すきっかけになったご家庭もあったようです。

そして、作者のことを改めて知ってから読まれた方は「いろんなシリーズを読んで、勝手な思い込みで作者の人物像を思い描き想像をふくらませていたので、何か違った感じで読めました。」という感想を書いてくださいました。



同じ本を読んでも、本の感想を話し合うこと、そこから更に家族でコミュニケーションを持つことが、うちどくです。夏休みだけでなく、日頃からうちどくを楽しむむちよつとした時間を作ってみてください。